

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 3 週間 Day 1 2 3 4 5 8 15 22
リツキシマブ	375 mg/m ²	↓
プレドニン	100 mg/body	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ (day2 からは内服、計 5 日間投与)
ドキシソルビシン	50 mg/m ²	↓
オンコビン	1.4 mg/m ² (最大 2mg)	↓
エンドキサン	750 mg/m ²	↓

レジメンオーダー以外に必要な処方

ロキソプロフェン(60) 1錠 1× 1日分 リツキシマブ投与前

フェキソフェナジン(60) 1錠 1× 1日分 リツキシマブ投与前

プレドニン(5) 20T 2× 朝昼食後 4日分 化学療法翌日から

注意事項

リツキシマブ：インフュージョンリアクション（気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックなど）に注意。

ドキシソルビシン、オンコビンは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

ドキシソルビシン：総投与量 500 mg/m²以下

投与方法：1日目	
1	ロキソプロフェン(60) 1錠 内服 リツキシマブの 30 分前に
2	フェキソフェナジン(60) 1錠 内服 リツキシマブの 30 分前に
3	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
4	<u>リツキシマブ</u> _____ mg、生食、適量（10 倍希釈以上、総量 600mL を超える場合は生食 1000mL を使用） メインルートから投与 初回：50mL/h から開始、患者の状態に変化がなければ、30 分毎に 50mL/h ずつ、最大 400mL/h までアップ可能 速度変更時に体温、脈拍、血圧測定 2 回目以降：初回に有害事象が grade 2 以下の場合、2 回目以降は 100mL/h より開始し、30 分毎に 100mL/h ずつ、 最大 400mL/h まで速度をあげることができる。 速度変更時に体温、脈拍、血圧測定
5	生食 100mL メインルートから ウォッシュアウト、ゆっくり、ルートキープ 15 分ほど リツキシマブの点滴速度を越えないこと。
6	グラニセトロン (3mg/100mL) 1V 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
7	プレドニン 100mg、生食 10 mL、下の側管からゆっくり静注
8	<u>ドキシソルビシン</u> _____ mg、生食 100 mL、30 分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与
9	<u>オンコビン</u> _____ mg、生食 50 mL、10 分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与
10	<u>エンドキサン</u> _____ mg、生食 100mL、60 分かけて点滴、ケモセーフロックのルートより投与
11	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄